

大阪成蹊大学 2025年3月卒 卒業時アンケート「本学での学修・学生生活について」

【回答選択肢】 A.そう思う／B.ややそう思う／C.あまりそう思わない／D.そう思わない

1. 本学での学びをとおして、あなた自身の成長を実感することができましたか？
2. 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？
3. これからの人生において役立つことを、本学で学びましたか？
4. 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？
5. 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？
6. 本学に入学して、良かったと思いますか？

	1.成長実感					2.教育満足					3.学びの役立ち度					4.教職員サポート満足度					5.就職サポート満足度					6.入学満足度				
	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計
経営学部 (経営学科・スポーツマネジメント学科) 回答率 84.5%	104	86	10	2	202	94	97	10	1	202	110	82	8	2	202	124	71	6	1	202	119	73	8	2	202	106	86	9	1	202
	94.1%		5.9%			94.6%		5.4%			95.0%		5.0%			96.5%		3.5%			95.0%		5.0%			95.0%		5.0%		
経営学科 回答率 87.5%	48	49	6	2	105	42	54	8	1	105	56	44	4	1	105	54	44	6	1	105	52	46	5	2	105	47	49	8	1	105
	92.4%		7.6%			91.4%		8.6%			95.2%		4.8%			93.3%		6.7%			93.3%		6.7%			91.4%		8.6%		
スポーツマネジメント学科 回答率 81.5%	56	37	4	0	97	52	43	2	0	97	54	38	4	1	97	70	27	0	0	97	67	27	3	0	97	59	37	1	0	97
	95.9%		4.1%			97.9%		2.1%			94.8%		5.2%			100.0%		0.0%			96.9%		3.1%			99.0%		1.0%		
国際観光 ビジネス学科 回答率 98.5%	37	25	2	0	64	28	35	1	0	64	40	23	1	0	64	38	25	1	0	64	39	24	1	0	64	38	22	4	0	64
	96.9%		3.1%			98.4%		1.6%			98.4%		1.6%			98.4%		1.6%			98.4%		1.6%			93.8%		6.3%		
芸術学部 回答率 89.2%	103	72	6	1	182	72	94	11	5	182	105	70	4	3	182	93	77	10	2	182	85	84	9	4	182	101	66	10	5	182
	96.2%		3.8%			91.2%		8.8%			96.2%		3.8%			93.4%		6.6%			92.9%		7.1%			91.8%		8.2%		
教育学部 回答率 90.7%	114	58	0	3	175	90	79	3	3	175	115	54	3	3	175	121	51	0	3	175	100	67	4	4	175	105	63	5	2	175
	98.3%		1.7%			96.6%		3.4%			96.6%		3.4%			98.3%		1.7%			95.4%		4.6%			96.0%		4.0%		
大学合計 回答率 87.8%	358	241	18	6	623	284	305	25	9	623	370	229	16	8	623	376	224	17	6	623	343	248	22	10	623	350	237	28	8	623
	96.1%		3.9%			94.5%		5.5%			96.1%		3.9%			96.3%		3.7%			94.9%		5.1%			94.2%		5.8%		

経営学部 経営学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ 割合(A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		
確かな 専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	49	48	6	2	92.4%	3.37
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	49	48	8	0	92.4%	3.39
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	47	52	5	1	94.3%	3.38
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	50	50	4	1	95.2%	3.42
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	51	47	6	1	93.3%	3.41
社会で 実践 する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	48	49	7	1	92.4%	3.37
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	45	53	5	2	93.3%	3.34
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	46	53	5	1	94.3%	3.37
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	49	50	5	1	94.3%	3.40
協働 できる 素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	50	49	5	1	94.3%	3.41
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	52	48	4	1	95.2%	3.44
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	51	48	4	2	94.3%	3.41

経営学部 スポーツマネジメント学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ 割合(A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		
確かな 専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	48	47	2	0	97.9%	3.47
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	47	48	2	0	97.9%	3.46
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	50	46	1	0	99.0%	3.51
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	51	44	2	0	97.9%	3.51
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	48	46	3	0	96.9%	3.46
社会で 実践 する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	44	52	1	0	99.0%	3.44
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	47	48	1	1	97.9%	3.45
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	51	44	2	0	97.9%	3.51
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	55	40	2	0	97.9%	3.55
協働 できる 素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	48	47	2	0	97.9%	3.47
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	53	43	1	0	99.0%	3.54
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	57	38	2	0	97.9%	3.57

経営学部 国際観光ビジネス学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ 割合(A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		
確かな 専門性	1. グローバル産業（国際ビジネス）及び観光関連産業におけるマネジメントおよびビジネスの仕組みを理解できる。	28	36	0	0	100.0%	3.44
	2. グローバル産業（国際ビジネス）及び観光関連産業における職務遂行（仕事）に必要な専門知識、技能の習得。	29	31	4	0	93.8%	3.39
	1) 企画・運営の理解（観光や国際ビジネスの役割や企画立案等を理解した）	27	36	1	0	98.4%	3.41
	2) 会計の理解（観光産業や企業の会計の役割や仕組みを理解した）	22	33	7	2	85.9%	3.17
	3) 流通の理解（企業、例えば旅行業の仕入れや旅行や航空・ホテル等の販売の流れについて理解した）	26	36	2	0	96.9%	3.38
	4) 商品開発の理解（観光や国際ビジネスにおける商品ができるプロセスを理解した）	27	36	1	0	98.4%	3.41
	5) 管理（マネジメント）の理解（観光や国際ビジネスの経営や戦略の重要性を理解した）	27	35	2	0	96.9%	3.39
	6) 国際コミュニケーション能力（英語力や対人コミュニケーション力が身についた）	27	37	0	0	100.0%	3.42
社会で 実践 する力	3. グローバル産業及び観光関連産業における環境適応性と適切な組織化、サービスの品質維持・向上。（観光や国際ビジネスのホスピタリティやサービス品質の重要性を理解した）	28	34	2	0	96.9%	3.41
	4. 問題課題発見にあたり、必要な情報を収集・分析・活用する。	31	33	0	0	100.0%	3.48
	5. 問題課題解決に向けて方策を企画・立案することができる。	29	34	1	0	98.4%	3.44
	6. 課題解決に主体的に取り組む意欲を持ち続け、積極的にかかわることができる。	30	32	2	0	96.9%	3.44
協働 できる 素養	7. 諦めずに、最後までやり遂げることができる。	36	27	1	0	98.4%	3.55
	8. 自己の意見を正確に伝える、他者の意見を聴くなどのコミュニケーションができる。	39	25	0	0	100.0%	3.61
忠恕の心	9. 社会や企業・組織の中で、協調、協働でき、役割を果たすことができる。	43	20	1	0	98.4%	3.66
	10. 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。	45	19	0	0	100.0%	3.70

芸術学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ 割合(A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		
確かな 専門性	1) 芸術・デザインに関する歴史的・理論的な学修に基づいた専門的な知識と理解を有し、これを有効に活用することができる。	94	85	2	1	98.4%	3.49
	2) 描画力、色彩計画、素材知識、構成力、構想力、コンピュータスキルを有し、これを有効に活用することができる	94	85	3	0	98.4%	3.50
	3) 独創性のある新しい造形表現ができる。（表現力）	83	90	8	1	95.1%	3.40
	4) 実践において専門的技能が発揮できる。（技術力）	83	93	5	1	96.7%	3.42
	5) 様々な知識や技能をいかして作品にまとめられる。（構成力）	88	89	4	1	97.3%	3.45
	6) 作品や企画を社会に対して効果的に発信できる。（プレゼンテーション能力）	73	98	8	3	94.0%	3.32
	7) 論理的な構成の文章で、意図を正しく伝えることができる。（文章表現力）	63	103	14	2	91.2%	3.25
	8) 聞き手の理解を確かめ、対話ができる。（伝える能力）	78	99	4	1	97.3%	3.40
	9) 物事を定量的にとらえ、比較対照できる。（計算力）	58	106	16	2	90.1%	3.21
	10) 自律、自立して学習できる。（学習力）	72	100	8	2	94.5%	3.33
	11) 文化、社会に関する一般的な知識をもち、世の中の事象を理解できる。（知識と理解）	70	104	7	1	95.6%	3.34
社会で 実践 する力	12) 必要な情報を判断し、収集することができる。（情報収集力）	85	93	4	0	97.8%	3.45
	13) 収集した情報を目的に沿って整理し、その関係性や本質を明らかにできる。（分析力）	77	97	7	1	95.6%	3.37
	14) 課題を解決するための道筋を考え、実践することができる。（課題解決力）	73	101	6	2	95.6%	3.35
協働 できる 素養	15) 積極的に取り組もうとする態度を身につけた。（主体性）	78	89	14	1	91.8%	3.34
	16) ニーズに基づいて計画的に行動しようとする態度を身につけた。（行動力）	72	97	11	2	92.9%	3.31
	17) 自己の役割を理解し、他者とともに協働しようとする態度と倫理観を身につけた。（協働力）	84	91	4	3	96.2%	3.41
	18) 効果的に意思疎通ができ、状況に即した表現ができる。（コミュニケーション能力）	80	91	9	2	94.0%	3.37
忠恕の心	19) 相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って行動することができる。	101	76	3	2	97.3%	3.52

教育学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ 割合(A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		
確かな 専門性	1) 教育に関する幅広い教養（社会教養・教科教養・教職教養・新しい時代の教育知識）や技能（ベーシック・リテラシーおよび専門リテラシー）が身についた。	102	69	1	3	97.7%	3.54
	2) 実践を省察しながら授業・保育を設計（デザイン）できる。（実践構想力）	91	78	3	3	96.6%	3.47
	3) 子どもの尊厳を尊重して共感的に接しながら実践できる。（実践力）	119	52	1	3	97.7%	3.64
	4) 協働的な実践の省察を通して実践を基礎づけている枠組みを発見し、新しい実践を提案できる。（実践探究力、新しい教育課題に対応するセンス）	91	79	2	3	97.1%	3.47
社会で 実践 する力	5) 市民として、問題意識、使命感、ヴィジョンを持って、社会に貢献しようとすることができる。	90	77	6	2	95.4%	3.46
	6) 主体的・継続的に学びつづける生涯学習の方法と習慣を身につけた。（学び続ける習慣）	95	76	2	2	97.7%	3.51
協働 できる 素養	7) 子ども理解を中心に、多角的な視点から他者や異質なものの理解ができる。	110	61	2	2	97.7%	3.59
	8) 他者と協同して、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる。（新しい教育課題に対応するセンス）	99	71	3	2	97.1%	3.53
忠恕の心	9) 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。（共感する心）	118	53	2	2	97.7%	3.64